

第 1 章 岐阜市信長公450プロジェクトの概要

(1) 背景

歴史上もっとも有名な戦国武将“織田信長公”は、斎藤道三公の娘“濃姫”と結婚した後、1567年から1576年まで足掛け10年、岐阜を本拠地として天下平定を目指しました。

さらには、“井口”と呼ばれていた地名を“岐阜”に改めた人物でもあります。

その間、楽市楽座によるまちづくりや本市の代表的な観光資源である“鶺鴒”の保護や“おもてなし”への活用など行い、それらは今もなお信長公の足跡として現代に繋がっております。

そのため、本市では、信長公を他の真似できない“地域固有の資源（宝）”として、「信長公による岐阜市活性化推進会議」を組織し、まちづくりや地域活性化に取り組んできました。

1534年	織田信長公誕生
1535年	斎藤道三公が稲葉山城に拠点を置く
1548年	斎藤道三公の娘濃姫と結婚
1567年	織田信長が稲葉山城を攻略し、本拠を小牧から移す
	井口を岐阜と改名する (Wiki 8月15日)
1568年	天下布武の朱印の使用開始
1569年	楽市楽座令を布く
	ルイス・フロイス、岐阜来訪
1572年	山科言継、岐阜来訪
	宣教師フランシスコ・カブラル、ルイス・フロイス岐阜来訪
1574年	津田宗及岐阜来訪、茶会開催
1575年	長篠で織田・徳川軍、武田軍を破る
1576年	安土城へ
1582年	本能寺の変で死亡 (49歳)

- 学ぶ・・・信長学フォーラム、信長塾
- 楽しむ・・・信長まつり、道三まつり
- 感じる・・・岐阜城、鶺鴒、発掘調査
- 繋がる・・・サミット、居城連携 など



このような中、

- ・2015年4月、日本遺産第1号として、「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜」が認定
- ・2017年 信長公の岐阜入城450年

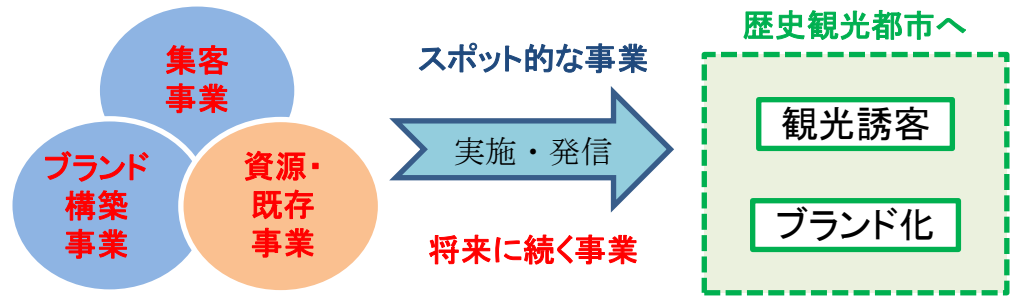


岐阜市を盛り上げ、
 信長公ゆかりのまち・岐阜市の
 知名度を上げ、**好機を迎える！**
 都市ブランド化に繋げる

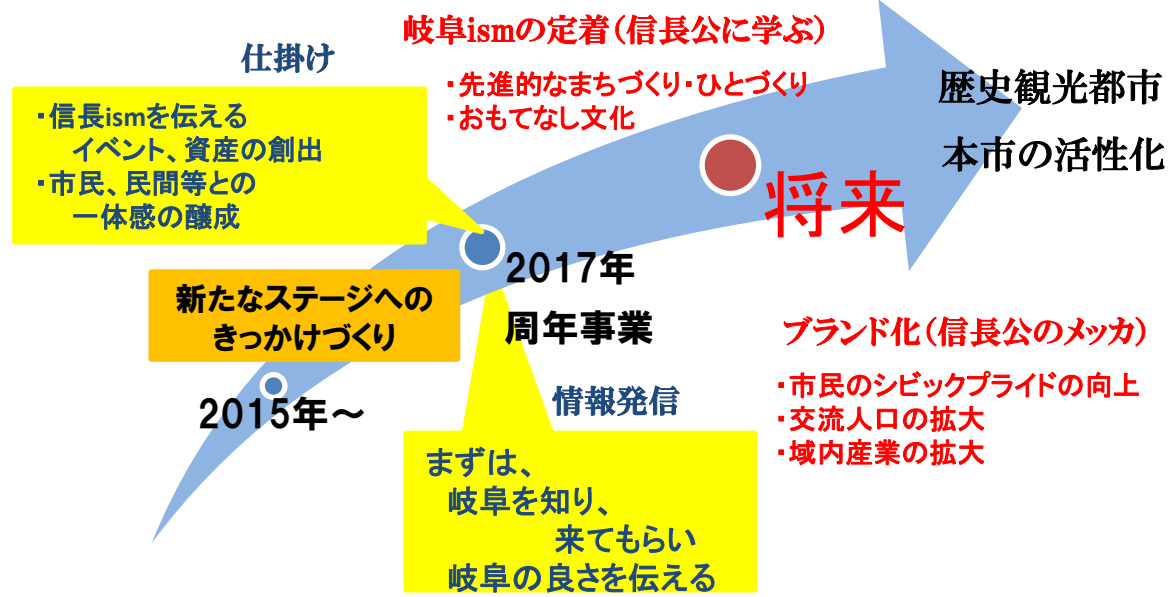
(2) 基本方針

■ 目的

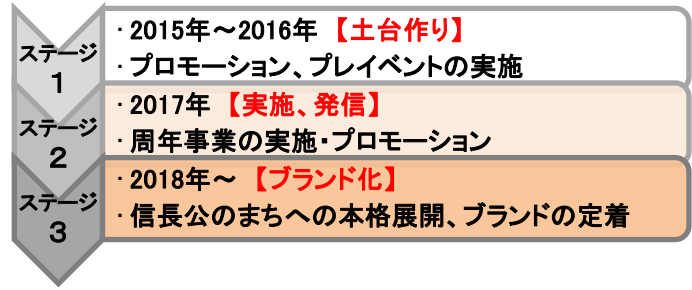
2017年に、織田信長公が1567年に当地に入城し、地名を岐阜に改名してから450年の節目を迎えるに当たり、周年事業の実施を通じ、広く市内外に“信長公ゆかりのまち・岐阜市”をブランド発信するとともに、観光誘客・賑わいの創出を図り、更には、市民・企業等と一体感を持って盛り上げることを通じ、シビックプライドを高め、将来に向けての都市ブランド化、持続可能な観光振興・地域活性化に繋がるきっかけとする。



■ 将来イメージ



■ ステップ



(3) 実施計画

- 周年期間 2017年1月1日～2017年12月31日（1年間）
 （プレ期間：2016年4月1日～2016年12月31日）

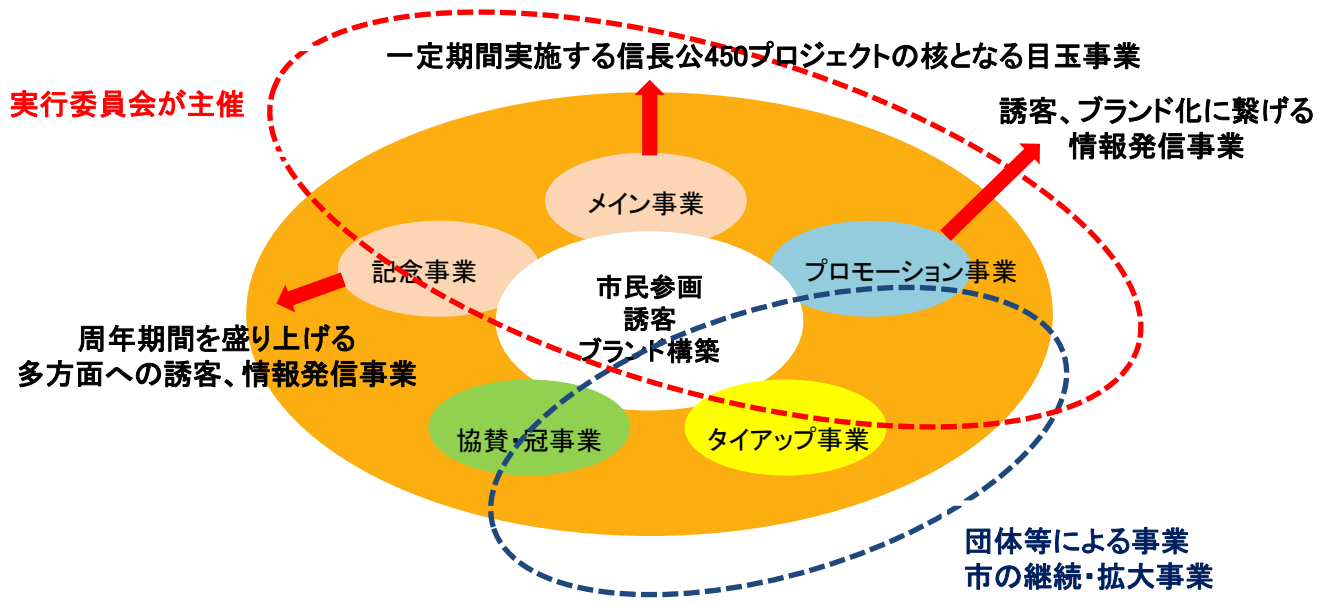
■ ゾーニング

JR岐阜駅から岐阜城・長良川周辺までの中心市街地一帯を4つのゾーンに分け、それぞれの特性を生かし「信長公ゆかりのまち」としてのブランド発信を行うとともに、にぎわいの創出を図り、それぞれが連動し回遊するよう取り組む。



■ 事業体系

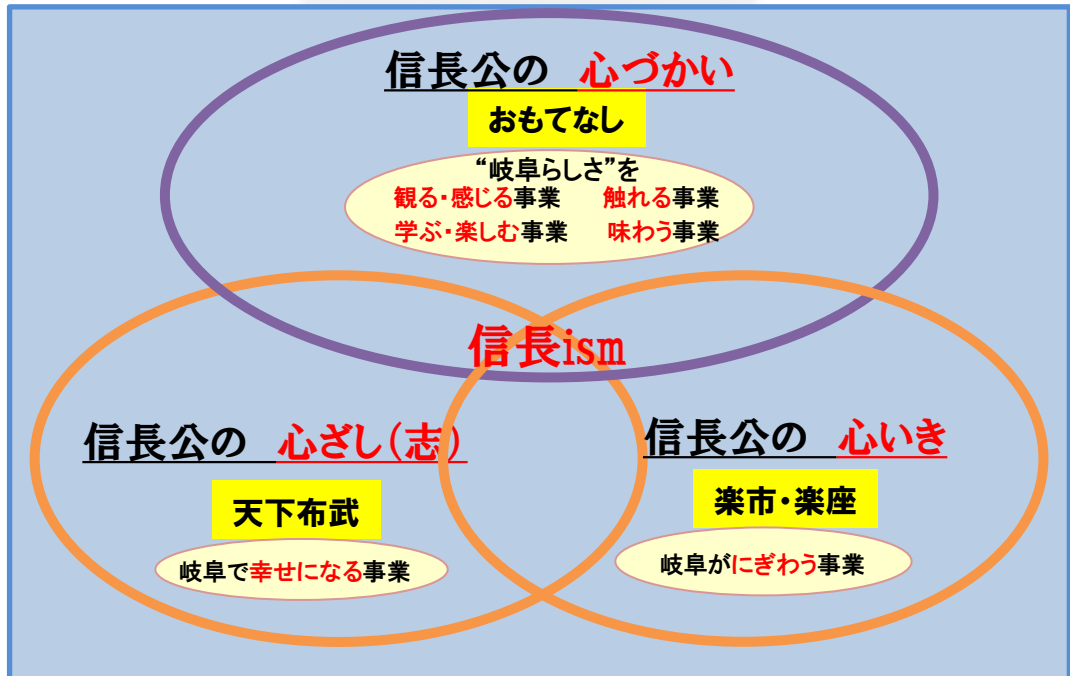
目的を達成するため、周年事業として実施すべき事業を5つの区分に分け、主催事業のみだけでなく、市民・民間団体等も積極的に参加いただく協賛・冠事業も体系の一つとする。



■ 事業コンセプト

事業の立案に際しては、信長公と岐阜市の繋がりを伝える事を第一義とし、信長公のおもてなしの心、信長公の文化的な側面にスポットを当て、大きく3つのコンセプトにより実施。

「受け継ぐ信長公の心」



■ 目標

周年事業の実施による目標として、直接的な数値としてのアウトプットと成果（効果）としてのアウトカムの2種類を設定。

○アウトプット

- 述べ参加者数 200万人（イベント参加者、入場者数など）
- 情報発信者数 250万人（DM数、ノベルティ配布数など）
- 実施団体数 30団体

○アウトカム

- ブランド力の向上** 市町村の魅力度ランキング（2014：283位、2013：236位）からの上昇
- 認知度の向上** ウェブアクセス数の増加（市観光HP H26年度：8万）からの上昇
- 観光誘客数の増加** 観光入込客数（H26：773万人）からの増加
 宿泊者数（H26：61万人）からの増加
 JR、名鉄岐阜駅利用者数（H25：定期外677万人）からの増加

(4) 実施体制

目的を達成するため、周年事業の実施主体として官民一体となった実行委員会組織を平成27年7月に設置。委員は、岐阜県、岐阜商工会議所をはじめとし、各種観光・文化団体など30団体により構成し、オブザーバー会員として、国、域内の大学等が参画。事務局は、岐阜市役所に新しく新設された企画部信長公450プロジェクト推進課が担った。

名誉会長	岐阜市長
名誉顧問	小和田 哲男（静岡大学名誉教授）
顧問	岐阜市議会議長 岐阜商工会議所会頭
特別顧問	山田 貴敏（ぎふ信長大使）

岐阜市信長公450プロジェクト実行委員会

会 長 浅井 文彦(岐阜市副市長)
副会長 大松 利幸(岐阜商工会議所副会頭)

オブザーバー会員 (11団体)

【事務局】 岐阜市企画部信長公450プロジェクト推進課

幹事会

総務部会

産業振興部会

宣伝誘客部会

岐阜市信長公450プロジェクト 周年事業パートナー



十六銀行

株式会社 安部日鋼工業

岐阜信用金庫

岐阜プラスチック工業株式会社

株式会社 電算システム

株式会社 トーカイ

ヒロタ株式会社

信長公450応援大使



若井友希さん



ゆっこさん



のぶさま。



ひあゆ丸



うーたん

信長公おもてなし武将隊



岐阜武将隊 信義徹誠
岐阜城盛り上げ隊
岐阜おもてなし集団 響縁隊

(5)450プロジェクトの主な歩み



岐阜命名 四百五十年目のおもてなし
—受け継ぐ信長公の心—

日付	内容	
平成26年7月8日	「信長公による岐阜市活性化推進会議」に 信長公入城及び岐阜命名450周年事業プロジェクトチーム設置	
平成26年11月12日	「信長公による岐阜市活性化推進会議」において事業計画案の方向性を承認	
平成27年3月	事業計画案を決定 平成27年度(2015年度)予算承認	
平成27年4月	岐阜市信長公450(よん・ごー・まる)プロジェクト始動	
平成27年4月24日	「 “信長公のおもてなし“が息づく戦国城下町・岐阜 」が日本遺産第1号に認定	
平成27年5月1日	イベント事業の企画提案一般募集開始(～8月31日まで) 26件の提案 協賛事業の提案募集開始 4件の提案	
平成27年5月11日	岐阜市信長公450プロジェクトPR用のぼり旗の設置を開始	
平成27年5月12日	カウントダウンボードカウントスタート((株)岐阜放送からの寄贈) 周年期間のスタート平成29年1月1日まで残り600日	 除幕式
平成27年5月18日	岐阜市×徳間書店×ムシカゴグラフィクス特別コラボ企画始動 岐阜市出身小説家によるオンライン歴史小説連載スタート	
平成27年7月7日	岐阜市信長公450プロジェクトPR用のぼり旗等の貸出を開始	
平成27年7月29日	岐阜市信長公450プロジェクト実行委員会設立(30団体33人)	
平成27年7月29日	ロゴマーク、キャッチフレーズ発表	
平成27年9月	岐阜市信長公450プロジェクトホームページの開設	
平成28年1月	信長公450ピンバッジの着用を開始	
平成28年2月18日	岐阜市信長公450プロジェクトPR用法被の貸出を開始	
平成28年3月17日	信長公450プロジェクトPRポスター完成	
平成28年3月30日	実行委員会総会において、平成28年度(2016年度)事業計画及び予算を決定	
平成28年4月1日	岐阜市企画部内に信長公450プロジェクト推進課を設置 プライベート期間スタート	
平成28年4月	岐阜市信長公450プロジェクトフェイスブックの開設	
平成28年8月25日	信長公おもてなし武将隊の任命(3武将隊)	
平成28年9月	周年事業パートナー7社が決定 十六銀行、安部日鋼工業、岐阜信用金庫、岐阜プラスチック工業、電算システム、トーカイ、ヒロタ	
平成28年10月	周年事業イベントガイドBOOKを発刊	
平成28年12月15日	信長公450応援大使の委嘱(若井友希さん、のぶさま、ひあゆ丸、うーたん)、総決起大会を開催	
平成29年1月1日	「岐阜城 初日の出」開催 周年期間スタート	
平成29年3月15日	信長公450応援大使の委嘱(ゆっこさん)	
平成29年3月30日	実行委員会総会において、平成29年度事業計画及び予算を決定	
平成29年12月22日	450周年期間クロージングイベント開催	
平成29年12月31日	周年期間終了	
平成30年2月15日	第6回岐阜市信長公450プロジェクト実行委員会総会において実行委員会の解散を決議	